



「跳躍山犬」 120×170×60(cm) 2014 年

「気配」は実体であり 実体は「気配」である

私の先祖は英彦山（ひこさん）の山伏です。実家の犬は狩猟犬だったこともあり、鹿などの大型獣に果敢に向かっていきます。山中の鹿を見かけると、突然疾風のように駆け出すのです。追うモノと追われるモノにあるその「絆」は、他が入ることを許さない聖なる領域のように張りつめています。彼らは一種の躍動する「気配」そのものになり、この山が「霊気」という粒子で満ちていることを、改めて感じさせてくれるのです。